



2026年2月20日

各位

会社名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉山 悠
(コード番号：7707 東証グロース)
問合せ先 財務・経営企画部長 小倉 武治
(TEL 047-303-4800 <https://www.pss.co.jp/>)

2026年6月期 第2四半期（中間期） 決算説明会の実施について

以下のとおり、2026年6月期 第2四半期（中間期） 決算説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

■ 開催状況

日時 : 2026年2月20日（金）
13時30分開始 機関投資家向け決算説明会
形式 : オンライン動画配信

■ 添付資料

2026年6月期 第2四半期（中間期） 決算説明会資料

以上



2026年6月期第2四半期(中間期) 決算説明会

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社(証券コード:7707)

2026年2月20日

| | |
|-----------------------------------|----|
| 1.エグゼクティブサマリー | 3 |
| ・2026年6月期第2四半期（中間期）概況 | 4 |
| 2.第2四半期(中間期)累計実績、通期予想 | 5 |
| ・2026年6月期第2四半期（中間期）連結実績 | 6 |
| 補足資料 | |
| 2026年6月期第2四半期（中間期） 営業損益の改善（対前年同期） | 7 |
| 2026年6月期第2四半期（中間期） 連結キャッシュ・フロー | 8 |
| 2026年6月期第2四半期（中間期） 連結営業キャッシュ・フロー | 9 |
| 2022年6月期第2四半期以来、4年ぶりに黒字回帰 | 10 |
| ・2026年6月期通期連結業績修正予想 | 11 |
| 補足資料 | |
| 2026年6月期 連結営業損益予測（2/16修正通期業績予想） | 12 |
| 中期経営計画の進行状況（2026年6月期第2四半期(中間期)時点） | 13 |
| 3.主要事業の進捗状況 | 14 |
| ・PSSプラットフォームのビジネスモデル | 15 |
| ・PSSプラットフォームの展開、拡大 | 16 |
| ・PSSプラットフォーム、核酸抽出試薬・消耗品の販売状況 | 17 |
| ・新規ODM製品受託開発の推進状況 | 18 |

1. エグゼクティブサマリー

● 業績予想比(対8/14 開示業績予想比)

- 売上は業績予想どおり進捗、売上総利益は予想を下回ったが、販管費の削減で営業利益は業績予想を超えた
- 通期予想を上方修正、売上増加、売上総利益が回復、営業利益は上半期の業績予想との差額を維持すると予想

● 前期比較

- 大幅な増収、増益となり、第2四半期では、2022年6月期第2四半期以来、4年ぶりに黒字回帰
- リカーリングビジネスが順調に成長し、試薬・消耗品売上は前年同期比+52.9%と大きく伸長、売上構成比が29.8%から39.5%へ9.7pt上昇
- ORC吸収分割に伴う組織再編・販管部門の製販区分見直しにより、販管費が下がり原価が上がるも、製造工程改善によるコストダウン効果および需要増加による工場稼働率の向上により、営業利益が伸長

● 継続企業の前提に関する重要事象等

- 連結子会社の吸収分割などの抜本的な事業再編による費用抑制効果に加えて、PSSプラットフォーム(注1)の累積販売数増加による試薬・消耗品のリカーリング積み上げによる安定した収益構造へ大きく改善
- 売上増加に伴う資金需要については、メインバンクを中心に与信枠を拡大
- 以上の状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象及び状況は解消したものと判断

(注1)詳細はP14にてご説明いたしております

2. 第2四半期(中間期)累計実績、通期予想

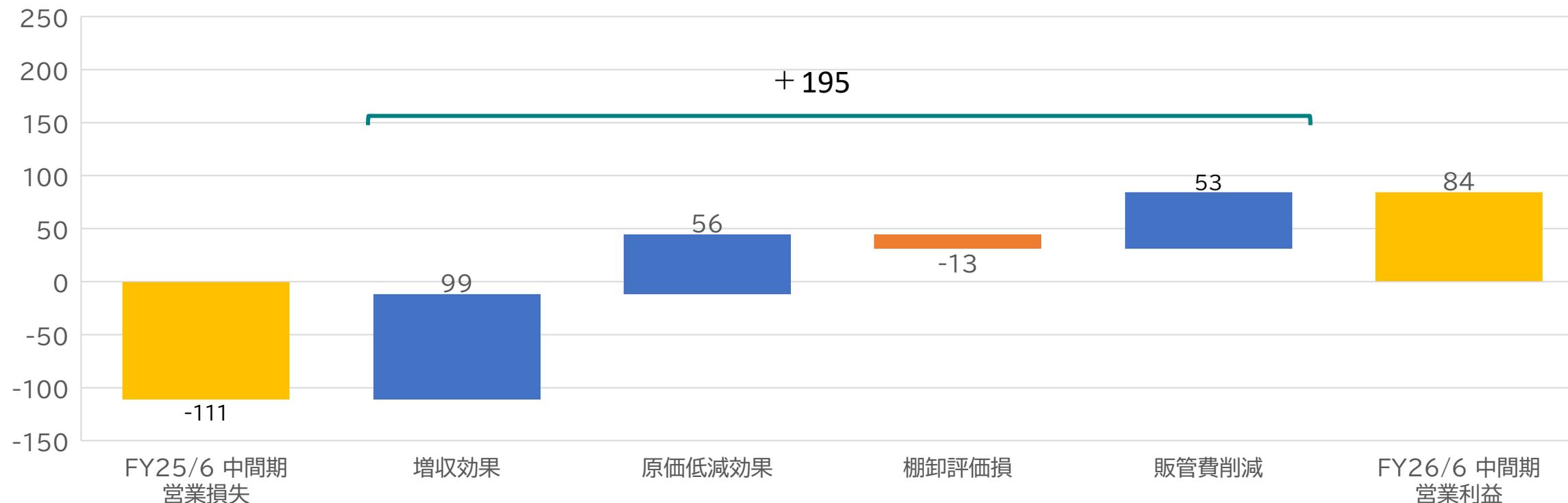
単位:百万円

| | FY26/6 8/14業績 予想(計画) | FY26/6 中間期実績 | 計画差額 | 達成率 | FY25/6 中間期実績 | 前年差額 | 前年比 |
|------|----------------------------|-----------------|------|---------|-----------------|------|---------|
| 売上高 | 2,525 | 2,534 | +9 | +100.4% | 2,197 | +337 | +115.3% |
| 営業利益 | 33 | 84 | +51 | +253.1% | -111 | +195 | - |
| 経常利益 | 24 | 69 | +45 | +287.5% | -119 | +188 | - |
| 純利益 | 24 | 61 | +37 | +257.4% | -156 | +217 | - |

- 売上は計画どおり進捗し、組織再編(事業構造改善)による費用抑制効果、試薬・消耗品の需要増加により、営業利益、経常利益、純利益の各利益が増益

単位:百万円

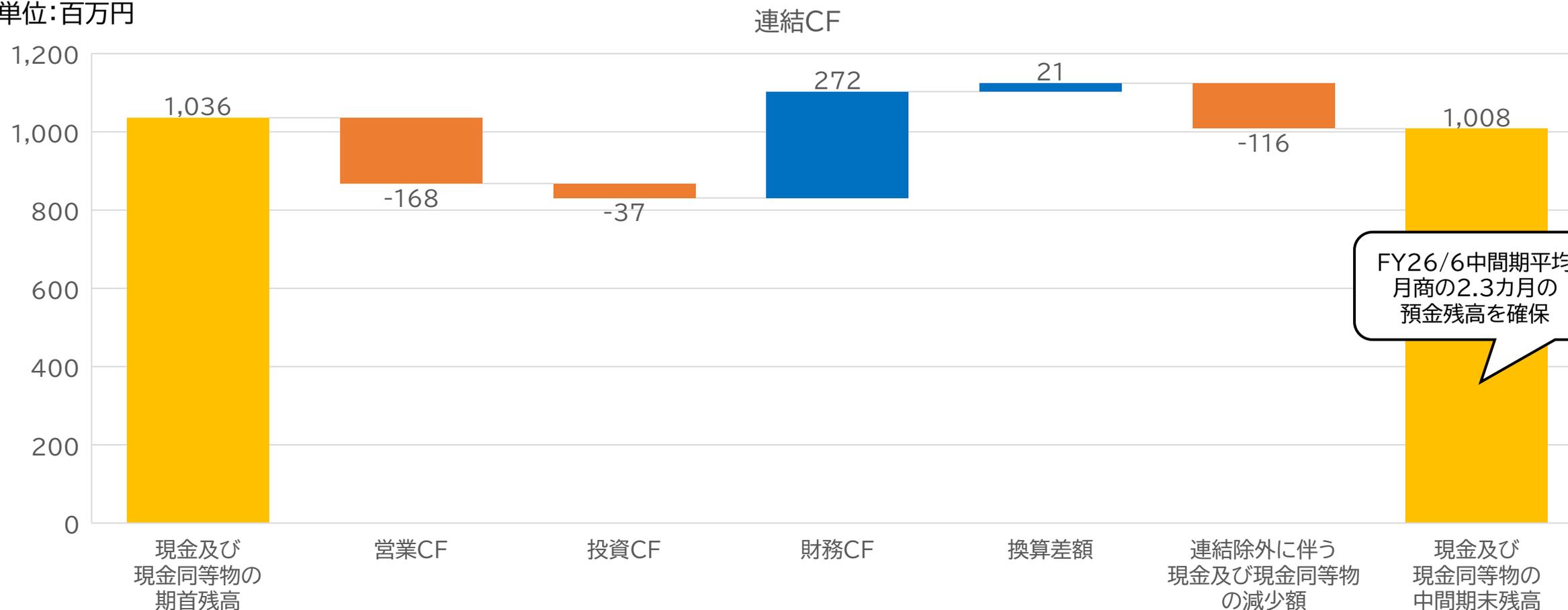
対前年同期営業損失に対する増加要因



● 対前年同期営業利益比較 195百万円の増益

- ・ 売上増加による増収で99百万円増加
- ・ 工程改善や量産効果による原価低減効果により56百万円増加
- ・ 動きの鈍い製品在庫に対しての棚卸資産評価損で13百万円減少
- ・ 販管費の全体的な支出抑制により53百万円増加

単位:百万円

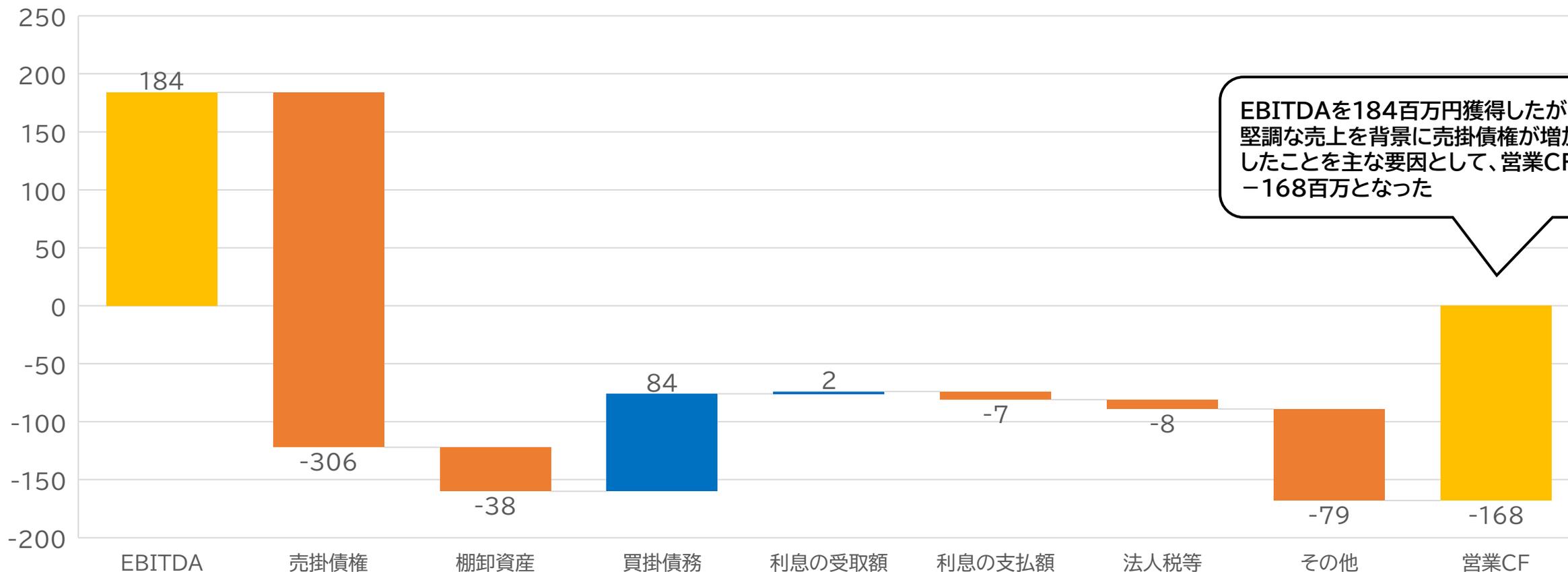


● 当中間期間連結キャッシュフローの状況

- ・ 堅調な売上を背景に売掛債権や棚卸資産が増加したことを主な要因として営業CFは-168百万円
- ・ 増産対応のための設備補強支出-37百万円
- ・ 運転資金へ充当するため、新規銀行与信獲得による借入金+272百万円
- ・ 現金及び現金同等物に対する換算差額+21百万円、NPS連結除外に伴う減少額-116百万円

単位:百万円

連結営業CF



EBITDAを184百万円獲得したが、堅調な売上を背景に売掛債権が増加したことを主な要因として、営業CFは-168百万となった

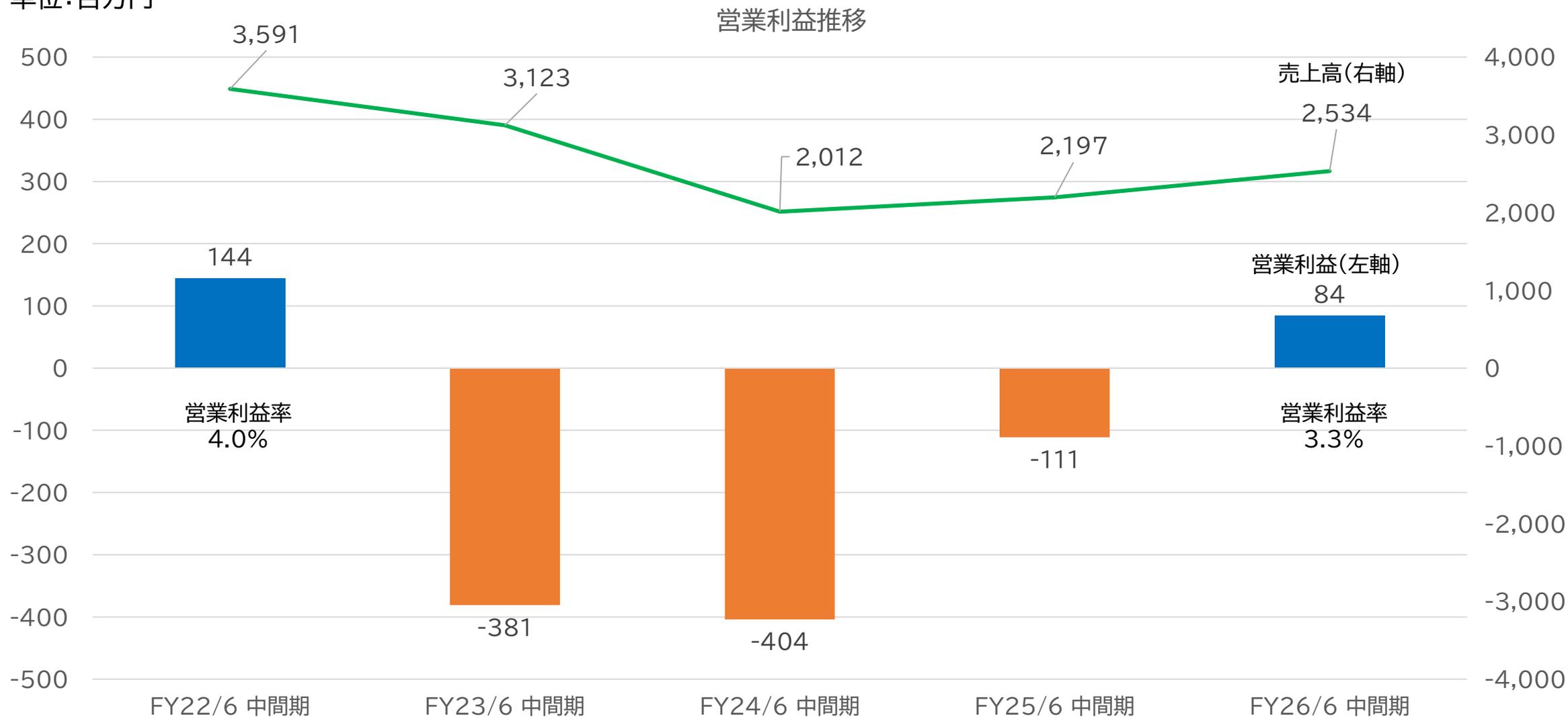
● 当中間期間連結営業キャッシュフローの状況

- ・ 堅調な売上を背景に売掛債権増加し-306百万円、棚卸資産が増加し-38百万円となり、買掛債務が増加し+84百万円、その他で-79百万円となったことで、営業CFは-168百万円となった

補足資料：2022年6月期第2四半期以来、4年ぶりに黒字回帰



単位：百万円

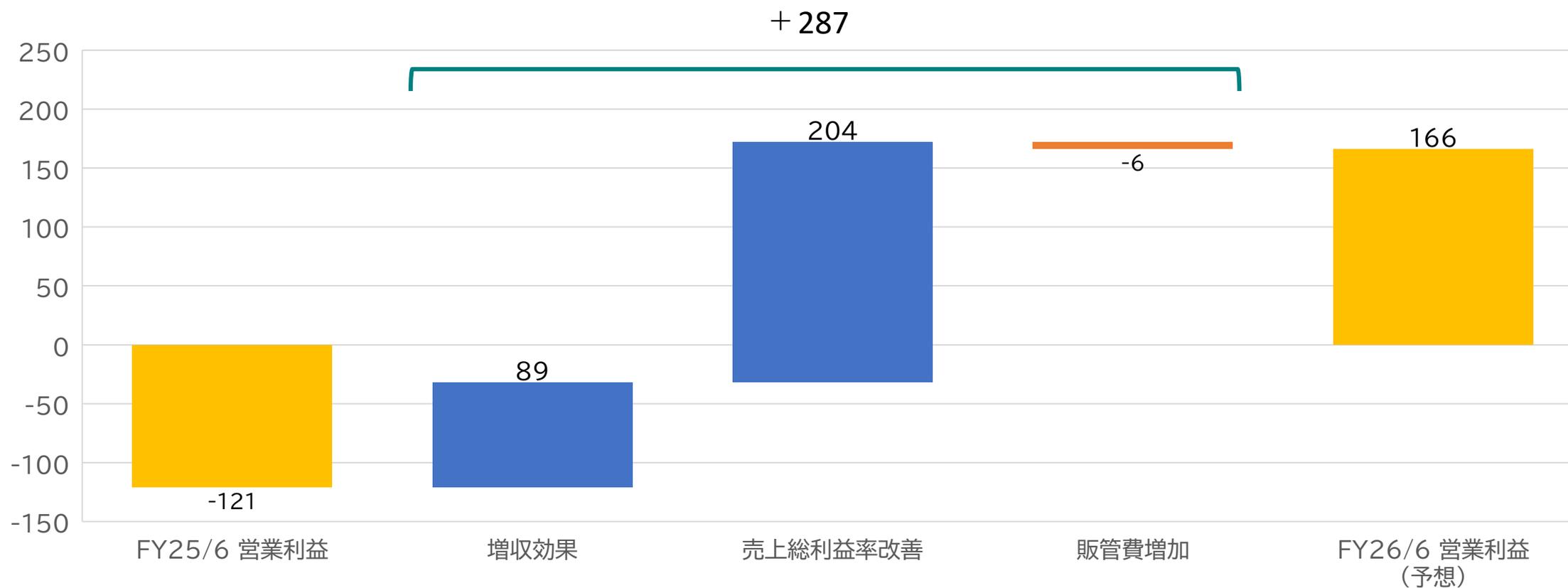


単位:百万円

| | FY26/6 8/14業績 予想(計画) | FY26/6 業績予想 | 計画差額 | 計画比 | FY25/6 通期実績 | 通期予想 前年差額 | 前年比 |
|------|----------------------------|----------------|------|---------|----------------|--------------|---------|
| 売上高 | 4,942 | 4,997 | +55 | +101.1% | 4,692 | +305 | +106.5% |
| 営業利益 | 114 | 166 | +52 | +144.6% | -121 | +287 | - |
| 経常利益 | 89 | 134 | +45 | +150.5% | -139 | +273 | - |
| 純利益 | 77 | 115 | +38 | +148.8% | -253 | +368 | - |

- 上半期の好調を維持し、通期業績予想を上方修正
 - ・ 売上高は試薬・消耗品の売上が好調を維持する見通し
 - ・ 営業利益は販管費の支出増が見込まれるものの、試薬・消耗品の原価低減効果の貢献により増益を予想

単位:百万円

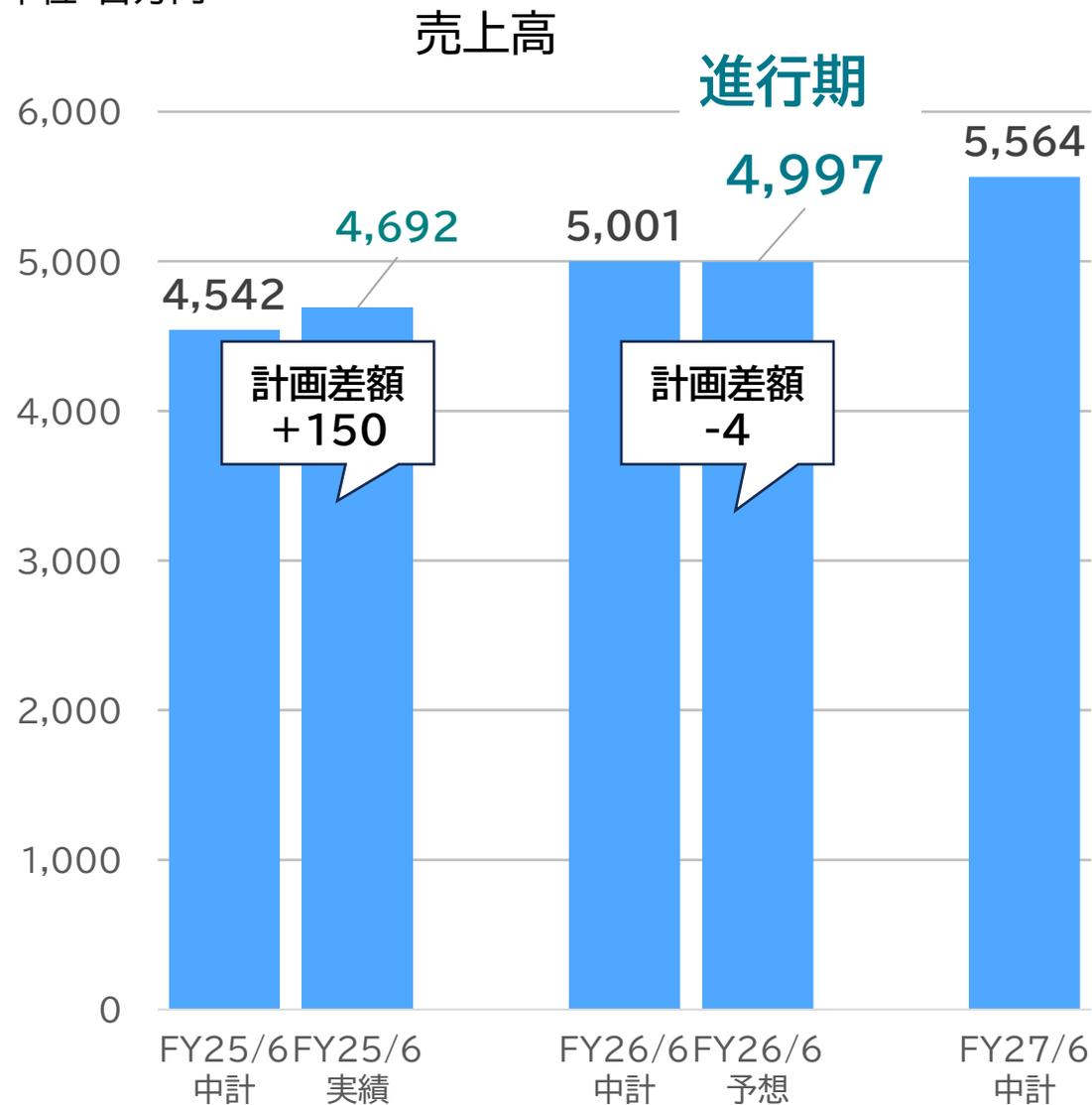


- 対FY25/6期 営業利益比較 +287百万円の増益見込
 - ・ 売上増加による増収で89百万円増加
 - ・ 工程改善や量産効果による原価低減で204百万円増加
 - ・ 販管費増加はRoHS指令等規制物質調査対応等によるもので6百万円減少

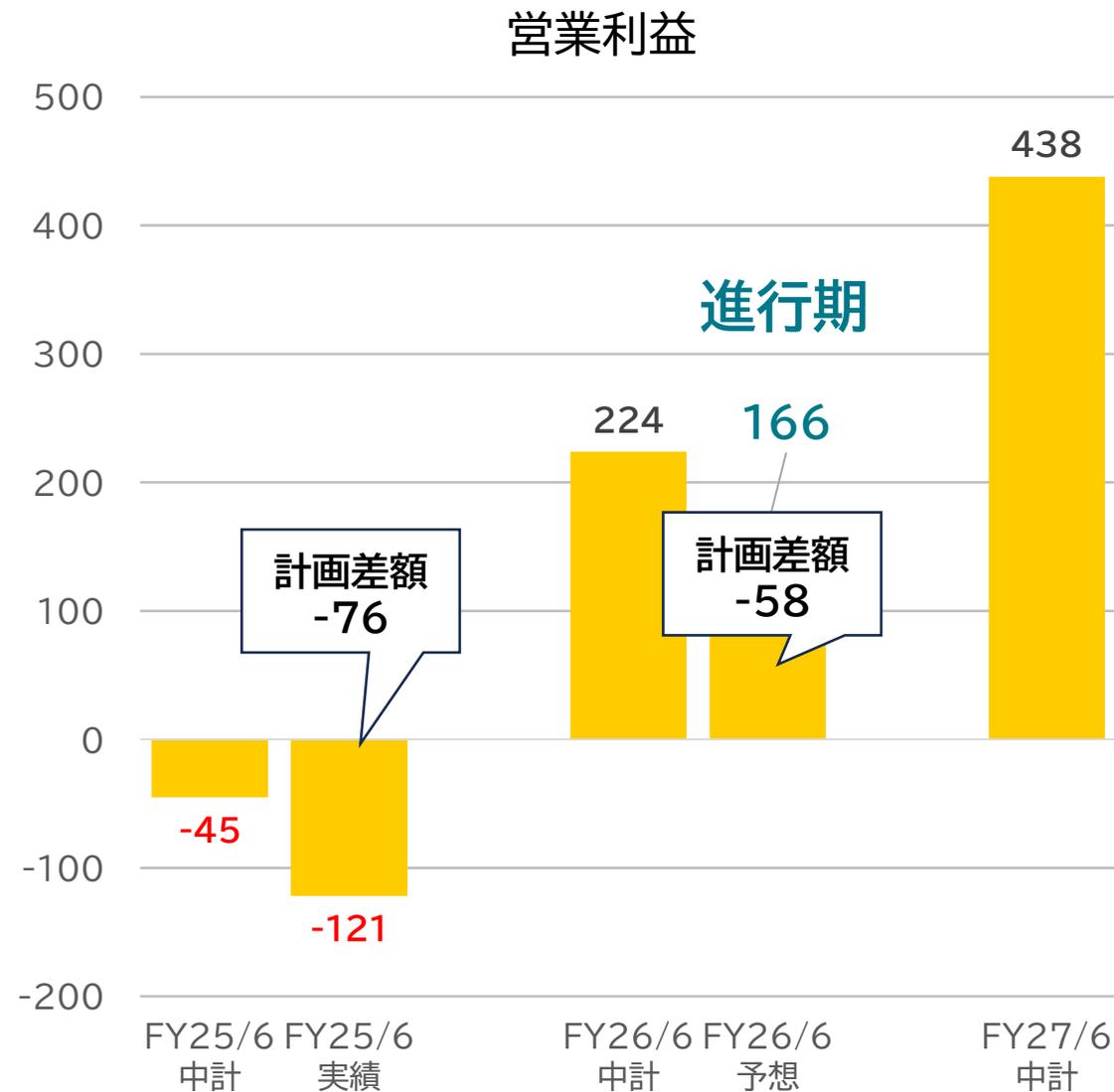
補足資料：中期経営計画の進行状況(2026年6月期第2四半期(中間期)時点)



単位:百万円



単位:百万円

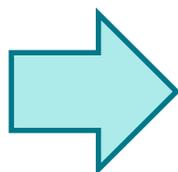


3. 主要事業の進捗状況

全自動の遺伝子検査オープンシステム+ユニバーサル抽出試薬・専用消耗品



PSSプラットフォームとは？

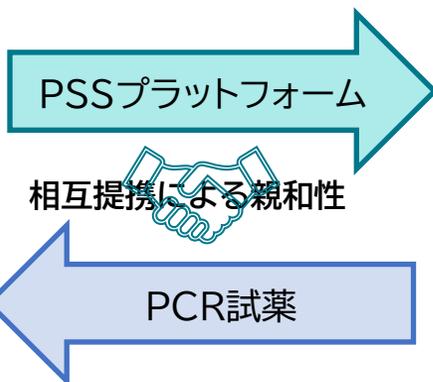


多様な試薬メーカーのPCR試薬

多様なサンプルに対応する、**ユニバーサル核酸抽出試薬・専用消耗品**を使用した、**全自動の核酸抽出+遺伝子検査システム**



- プラットフォーム提供
- 代理店としてPCR試薬を販売



提携PCR試薬企業各社

- ELITech社
- 日立ハイテク社
- アークレイ社
- SMD社(Sysmex Europe SE社) 他

➤ PSSプラットフォームを使用するパートナーとの**相互販売提携**

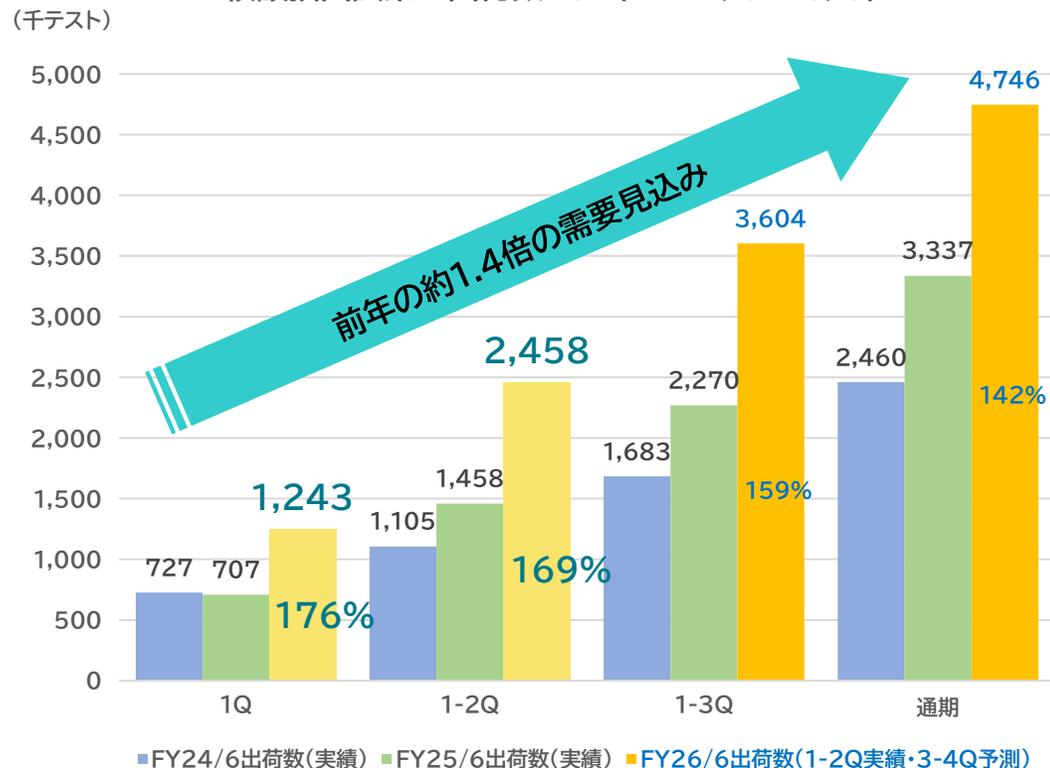
プラットフォーム増加によるリカーリングモデルを推進



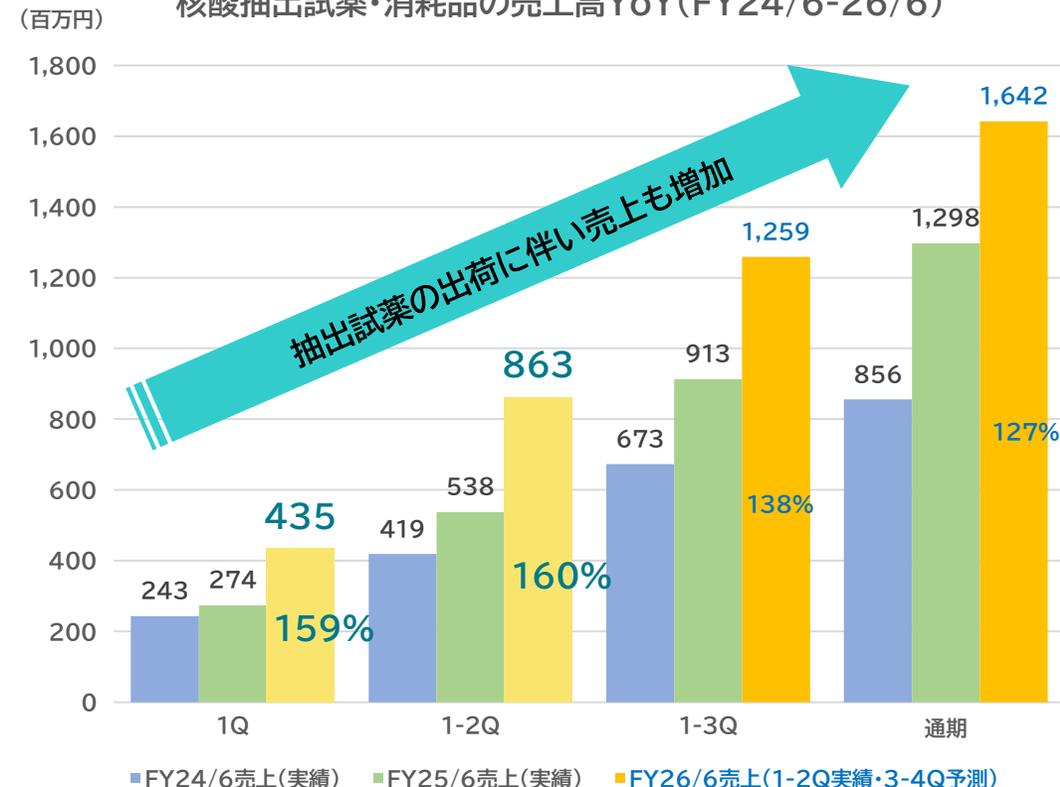
➤ 2016年～2025年12月のPSSプラットフォームの販売実績は、
「累計販売実績3,000台以上」

*PSSプラットフォームは、magLEADシリーズ、geneLEADシリーズ、ELITech社向けODM製品を対象としています。

核酸抽出試薬の出荷数YoY(FY24/6-26/6)



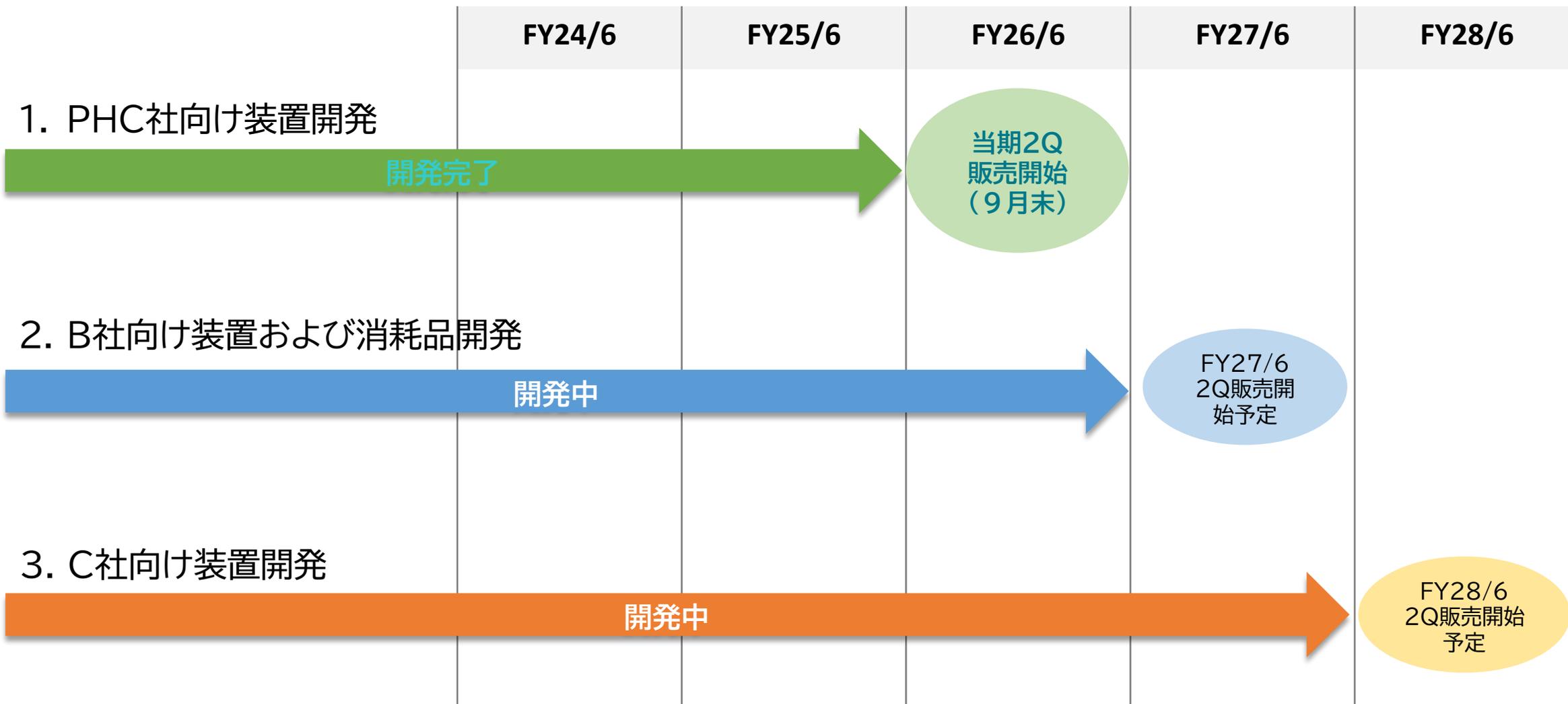
核酸抽出試薬・消耗品の売上高YoY(FY24/6-26/6)



※上記数値は、遺伝子検査向けプラットフォーム専用の核酸抽出試薬・消耗品のみを対象としており、その他の用途向け消耗品は含まれておりません。

- 核酸抽出試薬・消耗品の第2四半期累計実績はELITechGroup向けのODM製品を中心に、核酸抽出試薬の出荷数が前年同期比69%増、核酸抽出試薬の出荷数に伴い売上も前年同期比60%増となった
- 需要増加に伴う工場稼働率アップ、製造工程改善により、さらなる利益率向上を目指す

- 2025年9月にPHC社向け移動式免疫発光測定装置「パスファースト®」の改良モデルに関する新規製造委託契約を締結。



■ 本資料に記載の内容は、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。

これらは、本資料作成時において入手可能な情報に基づいた予想値であり、潜在的なリスクや不確実性が存在しています。そのため、本資料に記載されている将来見通しが、実際の業績と大きく異なる場合があることを、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

2026年2月20日

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社

URL:<https://www.pss.co.jp>

(お問合せ先:IR担当)

電話: 047-303-4800

メール:ir@pss.co.jp